

星出 豊 先生

指揮者生活50周年
記念祝賀会

平成30年3月26日(月)

開宴 正午
会場 リビエラ青山(メインダイニング)

星出豊 先生

指揮者生活50周年記念 祝賀会



式次第

一、 開宴の辞

一、 祝辞

一、 会食・歓談

一、 星出豊先生 謝辞



	式次第/目次	3
	指揮者生活50周年を振り返る	4
目次	演出家・スタッフと共に50年	8
	写真と共に振り返る	15
	星出会	18



指揮者生活50周年を振り返る



星出 豊

指揮者生活50周年を振り返る

星出 豊

本日、このように50周年を迎えることが出来たのも、お集まりいただいた皆様や、今まで私を支えてくださった方々のお陰だと、心からの感謝を申し上げたい。特に私の音楽人生の始まりをつくってくださった生涯の恩人、下八川圭祐先生のことは忘れることが出来ない。

ここで、今日までの音楽人生を少し振り返ってみたいと思う。

私は、1963年に東京声専音楽学校オペラ公演でヴェルディ作曲「運命の力」の軍曹役でデビューしたのだが、その稽古で、すっかりオペラの指揮に魅了されてしまった。

そこで、指揮の勉強がしたいと切望し、チャンスを探すことにした。

丁度この年の10月にNHK招聘のイタリアオペラ第4次公演があることを知っていたので、

東京声専音楽学校の先輩清宮秀高先輩を訪ね、参加できないかを尋ねてみた。

副指揮者は若杉弘先生と福永陽一郎先生という立派なお二人がいらっしゃるのだから当然無理だったが、合唱での参加には許可が出た。合唱の出番がない時も稽古に参加していたので、若杉先生にはその頃から仲良くしていただいた。

合唱団は一流のメンバーで、私などいる場所が無いように感じたが、東京声専音楽学校の先輩が多くいらしたので、少し安心した。

だが、何よりも音楽学校の歌の先生である白川雅雄先生が二期会合唱団で参加されていたのは心強かった。稽古で先生にお会いすると「俺の傍に何時もいろ！歌は口パクで良いから、お前は指揮者と歌手の心を、しっかりとらえろ！」という温かい言葉を頂いた。

指揮者が、ソリストとの見事なコンタクトの中に、自然に音楽を創っていくその過程を目の当たりにし、私は幸せな、また貴重な時間を過ごすことが出来た。そして、この指揮者という仕事に深く感動した。

1964年に下八川圭祐先生にマンフレッド・グルリット先生をご紹介いただき、レッスンをしてもらえるようになった。

但し、この時は歌のレッスンだったが、指揮に興味があることは伝えておいた。

その年に早稲田大学の早大舞台演出研究会の橘市郎氏からオペラを制作したいので、指揮をしないかとお誘いがあり、喜んで参加させてもらった。

しかし、今考えると少し無謀であったのかな～と思う。何故ならそれが、モーツァルト作曲「イドメネオ」の日本初演だったからだ。

下八川先生には、お前には早すぎる！とお叱りを受けたが、

同団体が翌年公演し、私が指揮をしたパイジェット作曲「セヴィリアの理髪師」の日本初演をお聞きになり、ある程度お認め頂いたのであろう。「指揮の道に進んでみなさい」とのお言葉を頂いた。

グルリット先生からも同じアドバイスを頂き、

先生の副指揮者としてシャルパンティエ作曲「ルイズ」の公演に参加することが出来た。

稽古は先生がピアノを弾き私が棒を振る。しかし、先生は指揮を全く見ずに勝手に弾かれる。

今思うと、これが音楽を教える一番のコツだったのかもしれない。

ドイツで勉強したいと先生に伝えると、先生は「劇場に入りコレペティをやりなさい」と言われた。

ドイツの各歌劇場に手紙を出すと、ほとんどの歌劇場から返事が来た。その返事の結果、条件が良かった「お金は貰えないが、実際に稽古に参加できる」ニュルンベルク歌劇場で勉強することになった。

三か月後には事務局に呼ばれ、アルバイトビザ（労働ビザ）を取るよう言われたのだが、当時、現地で取得するのは大変だったことが懐かしい思い出だ。

1967年ニュルンベルク歌劇場G.M.D(音楽監督)ハンス・ギールスター先生が私をデビューさせる為に、わざと急病になったと発表し「魔弾の射手」を私に振らせてくれた。

その公演直後、藤原歌劇団のマネージャーであった吉田昇さんにお会いし、生涯の恩師ハンス・レーブライン先生に巡り合うことになる。以後先生には大変お世話になった。師は東ベルリンの国立劇場では神様のような扱いだったが、話を聞くと、東西分かれる最後の指揮者で、最後の公演「イル・トロヴァトーレ」の公演の時にロシア軍が入ってきて公演を中止させられ、マエストロ夫妻だけ西側に行かせて貰えたとのこと。涙で語るレーブラインの姿は今でも忘れられない。

1984年に東ベルリンを一緒に訪れたときは、先生が「フィガロの結婚」(ペーター・シュライアーはバジリオ役で出演)を振り、私が「コジ・ファン・トゥッテ」を振らせてもらった。

また、師のお宅はスイスのバーゼル(鉄道は南バーゼル下車でドイツとの国境のためドイツ語が主体の街)にあり、私がヨーロッパに行く時は、宿泊させて頂き、奥様と秘書が私のマネージもしてくださった。

1977年昭和音楽大学の制作でバチカン国で作られた「ダヴィデ王」を世界初演し、それをきっかけにヴィチエンツァのオリンピコ劇場のオーケストラの定期を振り、また、カステル・フランコでのデル・モナコ コンクールの審査委員も務めることになった。

1973年に大賀寛先生にお会いして、1975年からは日本オペラ協会の指揮をすることになった。最初の演出家が武智鉄二先生・観世英夫先生だったので、緊張して稽古にのぞんだ日が昨日のように思われる。

1983年には栗山昌良先生と出会い、それ以降多くの作品をご一緒させていただき、ドラマと音楽の関係を事細かに教えていただいた。日本のオペラが好きになったのは、特に武智先生・栗山先生のお陰だと思っている。

1975年に藤原歌劇団でチマローザ作曲「秘密の結婚」を公演することになり、すでにイタリアで活躍していた栗国安彦氏を呼び戻し、日本初演を実現することが出来た。これが彼との初めてのオペラ創りであり、心に残る作品の一つになった。

また、五十嵐喜芳先生が総監督の時には、プッチーニ作曲「妖精ヴィトリ」の日本初演を振らせていただいた。この公演以降も五十嵐先生には新国立劇場他、大変お世話になった。

藤原歌劇団と日本オペラ協会が合併し日本オペラ振興会となり、大変素晴らしいオペラ創りに参加させていただいてきた。

ワルシャワでの日本オペラ公演では、ヴィエルキ歌劇場のオーケストラを使つての公演。

他団体でもイタリア・パルマのレージョ歌劇場で日本オペラを公演し、

日本の作品を大変喜んでもらえたことが嬉しかった。

昭和音楽大学におけるオペラ公演は、下八川恭介理事長に代替わりをしてからは、イタリアの演出家を招いての公演が多くなり、私自身楽しみながら勉強させてもらっている。

新国立劇場設立に当たっては、委員をしながらオープニングの團伊玖磨先生作曲「タケル」を指揮させてもらった。
以降「天守物語」「沈黙」スクール公演での「バタフライ」移動公演「魔笛」(オーバードホール柿落とし)等を指揮した。

今回、この会を催してくれた指揮者仲間は、私の公演を助けてきてくれた指揮者たちである。
彼らの助けがあったからこそ、私は今まで指揮活動が出来たのだと思う。彼らには感謝の言葉しか見当たらない。

ご覧の通り、オペラ活動に焦点を当て書かせていただいたわけだが、それは、
多くの人々が関わって創り上げるオペラこそが、私を人間として育ててくれたと思っているからである。
そろそろ引退の二文字が頭をよぎる年になったが、
折角多くの人との関りで学んだ、「人と音楽」を若い指揮者に知ってもらう為にも、
もう少し努力したいと思っている。

2018年3月 星出 豊



《演出家・スタッフと共に50年》

● = 邦人作曲家によるオペラ作品の世界初演 36本

■ = 外国人作曲家によるオペラ作品の世界初演 1本、本邦初演 17本

※外国人演出家は日本公演のみ記載（ヨーロッパデビューは記載）

敬称略（演出家名50音順）

演出家名	年月	タイトル	作曲家	主な出演者
栗國安彦	1977年6月	■秘密の結婚 (本邦初演1)	D. チマローザ	小田清・本宮寛子・平栄一 築地文夫・中村健
	1978年7月	■イル・カンピエッロ (本邦初演2)	W. フェルラーリ	中村健・森敏孝・本宮寛子 郡愛子・鹿野章人・岡山廣幸
	1979年11月	■アウリスのイフィゲニア (本邦初演3)	C. グルック	宮本昭太・桐生郁子・田川政子 佐藤美智子・川名康雄
	1981年12月	アマールと夜の訪問者	G. メノッティ	大嶽邦子・郡愛子・鹿野章人
	1983年10月	■ダヴィデ王 (世界初演4)	A. ヴィタリーニ	小笠原茂子・種井静夫・中村健
	1986年3月	カルメン	G. ビゼー	野田晃子・松川暢男・町田信
	5月	●舌を噛み切った女 (世界初演1)	原嘉寿子	郡愛子・多田羅迪夫・古沢泉 平良栄一
	7月	グロボリンクス (以後一回)	G. メノッティ	本宮寛子・郡愛子・鹿野章人
	10月	●鳴砂 (世界初演2)	岡崎光治	布田庸子・北村裕子・佐藤栄
	11月	■妖精ヴィッリ (本邦初演5)	G. プッチーニ	東敦子・山路芳久・田島好一 岡山廣幸
	1987年3月	蝶々夫人 (以後三回)	G. プッチーニ	田川和子・野田晃子・平良栄一 松川暢男・高橋智子
	1988年3月	袈裟と盛遠 (以後二回) (ポーランド公演を含む)	石井歓	中沢桂・多田羅迪夫・大倉由紀枝 古沢泉・田代誠・古賀恵美子 楢金正雄・鈴木康夫
	9月	魔笛	W.A.モーツァルト	薦田義明・藤原フサエ 林里美 若井健司・熊谷公博
	10月	タウリスのイフィゲニア	C.W.グルック	佐々木千賀・於保郁夫・石川誠二
	1989年9月	フィガロの結婚	W.A.モーツァルト	藤原フサエ・林里美・玉置忠徳 薦田義明・若井健司
	10月	カルメン	G. ビゼー	伊原直子・布田庸子・田口興輔 栗林義信
1991年1月	カルメン(追悼公演)	G. ビゼー	田口興輔・郡愛子 本宮寛子・鹿野章人	
栗國淳	1998年7月	愛の妙薬 (以後三回)	G.ドニゼッティ	高橋薫子・中鉢聡
	2000年9月	■幸せな間違い (本邦初演6)	G.ロッシーニ	森麻季・鹿又透・中鉢聡
今井伸昭	1994年1月	魔笛	W.A.モーツァルト	持木弘・高橋啓三・高口ひろえ
	1997年1月	カルメン	G.ビゼー	野田晃子・松川暢男・森山京子 田代誠・中島忠幸
岩田達宗	2001年11月	キジムナー時を翔ける	中村透	高田由紀・古沢泉・市川和彦
	2004年5月	こうもり サンボート高松柿	J.シュトラウス	林里美・若井健司



演出家名	年月	タイトル	作曲家	主な出演者
稲垣純	1977年3月	暗い鏡	芥川也寸志	小笠原茂子・井上善作
井上善作	2009年9月	カルメン	G. ビゼー	坂本朱・井ノ上了史・長谷川寛
鶴山仁	1994年5月	キジムナー時を翔ける	中村透	平良栄一・永吉伴子
	1981年11月	死神	池辺晋一郎	村田健司・古賀和子
江川智美	2003年10月	ラ・ボエーム	G. プッチーニ	渡辺ジュディス・佐藤淳一
大島尚志	1990年3月	マサリー	屋良文雄	大井學・喜納兼仁・平良優子
	1991年7月	カルメン	G. ビゼー	関山千枝子・石原克美・中沢桂
大谷冽子	1974年7月	修道女アンジェリカ	G. プッチーニ	三上芝景子・浦野りせ子
	1988年7月	オペラの稽古 聖母マリアの月	A. ロルツィング U. ジョルダノ	鈴木康夫・高橋和子・足立さつき 山内みどり・国井道子
小田健也	1983年3月	●唐人お吉 (世界初演3)	高木東六	林ひろみ・餐場智昭
	1983年9月	ヒロシマのオルフェ	芥川也寸志	古賀和子・西義一
	1988年11月	●秩父晩鐘 (世界初演4)	池辺晋一郎	埼玉オペラ協会
	1990年10月	●次郎物語 (世界初演5)	富永みさお	栗林義信・河村万美・丸山繁雄
	1992年12月	夕鶴	團伊玖磨	佐藤ひさら・持木弘・牧野正人
	1995年9月	●赤絵まんだら (世界初演6)	富永みさお	栗林義信・田代誠・河村万美
	2000年11月	じゅごんの子守歌	池辺晋一郎	畑正恵・枝川一也・小畑佳子
小野浩資	1982年9月	修道女アンジェリカ カヴァレリア・ ルスティカーナ	G. プッチーニ P. マスカーニ	姉齒けい子・福田成子 布田庸子・斎藤淳
	1983年9月	赤い陣羽織 ヒロシマのオルフェ	大栗裕 芥川也寸志	姉齒けい子・高島弘幸・佐藤栄 大崎健二・北村裕子・布田庸子
	1985年10月	ヘンゼルとグレーテル	E. フンパーディング	大崎健二・阿部郁子・山内すみえ
加藤直	1992年3月	マサリー (世界初演7)	屋良文雄	赤嶺紀子・知花賢招
桂直久	1995年11月	ペトロ岐部 (イタリア公演)	原嘉寿子	鹿野章人・持木弘
賀原夏子	1978年3月	●死神 (世界初演8)	池辺晋一郎	藤井多恵子・穴倉正信
観世栄夫	1975年-月	●鹿踊りのはじまり (世界初演9)	牧野由多可	立川澄人・竹沢嘉明
清宮秀高	1987年11月	カルメン	G. ビゼー	萱岡美津栄・日高好一
	1988年12月	ヘンゼルとグレーテル	E. フンパーディング	松藤雅彦・田川和子・豊島文
栗山昌良	1983年5月	天守物語(以後三回)	水野修孝	中村邦子・佐藤光政・ 捻金正雄・藤井多恵子
	1984年5月	●あだ (世界初演10) (以後三回)	三木稔	中沢桂・宮原昭吾・大野徹也 古沢泉・鈴木寛一
	10月	●祝い歌が流れる夜に (世界初演11) (以後三回)	原嘉寿子	伊藤京子・平野忠彦・安念千恵子 砂田直規・藤井多恵子



演出家名	年月	タイトル	作曲家	主な出演者
栗山昌良	1985年3月	カルメン	G.ビゼー	西澤明・松元洋子・小笠原克己
	10月	春琴抄	三木稔	中沢桂・小笠原茂子・鹿野章人・佐藤光政・鈴木寛一・捻金正雄
	1987年10月	●脳死を越えて (世界初演12) (以後三回)	原嘉寿子	大島洋子・宮原昭吾・佐藤ひさら
	1989年3月	すて姫	原嘉寿子	郡愛子・青山智英子・砂田直規 多田羅迪夫・古沢泉・松本進
	1990年3月	黄金の国	青島広志	市川倫子・佐藤光政・牧野正人
	3月	ヘンゼルとグレーテル	E. フンパーディング	大塚るみ・森真紀子
	5月	●よさこい節 (世界初演13) (以後三回)	原嘉寿子	佐藤ひさら・澤畑恵美・鹿野章人・持木弘・古沢泉・市川和彦
	10月	●岩長姫 (世界初演14) (以後三回)	原嘉寿子	田中勉・仁禮義子・油井昌行 木川田誠
	1992年4月	ドン・ジョヴァンニ	W.A.モーツァルト	田中由也・井岡潤子・西垣俊朗
	1993年1月	春琴抄 (以後二回)	三木稔	伊藤晶子・小林満
	1984年-月	●ペトロ岐部 (世界初演15)	原嘉寿子	鹿野章人・持木弘・砂田直規・久岡昇・安念千恵子
	1994年9月	袈裟と盛遠	石井欽	牧野正人・佐藤ひさら・鹿野章人 山口道子・古沢泉・黒田博
	12月	袈裟と盛遠 (アクトシティ浜松柿)	石井欽	牧野正人・黒田晋也・佐藤ひさら
	1995年5月	黒船	山田耕筰	佐藤ひさら・大倉由紀枝・持木弘 古沢泉・鹿野章人
	1996年9月	●額田王姫 (世界初演16) (以後一回)	原嘉寿子	佐藤ひさら・関定子栗林義信 鹿野章人持木弘・角田和弘
	1998年12月	天守物語 (以後一回)	水野修孝	大川隆子・小栗純一・丹羽勝海
	1999年7月	蝶々夫人	G.プッチーニ	佐藤ひさら・福井敬・牧野正人
	2005年1月	こうもり	J.シュトラウス	笹尾雅代・平野紀子・岡崎正治
黒田恭一	1971年6月	■ナブッコ (本邦初演7)	G. ヴェルディ	徳田京子・神原誠・小池哲夫・大野静雄
幸喜良秀	1992年2月	キジムナー時を翔ける	中村透	玉寄理智子・坂名城律子 平良栄一
佐藤信	1983年10月	■マハゴニー市の興亡 (本邦初演8)	K.ヴァイル	郡愛子・平良栄一・森敏孝・春日成子・鹿野章人
	1987年2月	白いけものの伝説	林光	大島洋子・平良栄一・金森静子
篠崎光正	1989年10月	●美女と野獣 (世界初演17)	水野修孝	佐藤ひさら・鹿野章人・捻金正雄
杉理一	1985年12月	仮面舞踏会	G. ヴェルディ	木村珠美・岡崎勝久・砂田直規
	1987年12月	トスカ	G. プッチーニ	木村珠美・森靖博・竹沢嘉明



演出家名	年月	タイトル	作曲家	主な出演者
杉理一	1995年9月	鳴神	間宮芳生	勝部太・山口道子
高橋左近	1980年10月	■ウンディーネ (本邦初演9)	E. T. A. ホフマン	清水明子・吉田征夫
武智鉄二	1975年3月	●綾の鼓 (世界初演18)	入野義朗	砂原美智子・吉岡巖
	1976年3月	あやめ 俊寛 (以後二回)	牧野由多可 清水脩	大賀寛・郡愛子・ 栗林義信・井上善作
	1978年10月	修禪寺物語 (以後二回)	清水脩	砂原美智子・井上善作
	1980年3月	春琴抄	三木稔	中沢桂・友竹正則・浦野りせ子 捻金正雄・小笠原茂子
	1980年4月	カール・リバー	E.Bブリトン	中村健・立川澄人・竹中利治
田才益夫	1979年9月	●安寿と厨子 (世界初演19)	牧野由多可	林ひろみ・広瀬恭子・井上善作
橘市郎	1964年1月	■イドメネオ (本邦初演10)	W.Aモーツァルト	毛利純子・島田恒輔・加瀬恭子
	1965年7月	デイドとエネアス	H.パーセル	高丈二・金森静子
	1965年10月	■セヴィリアの理髪師 (本邦初演11)	G.パイジエッロ	宮本昭太・中村邦子・板橋勝
	1981年9月	●安寿と厨子王 (改定世界初演20)	牧野由多可	関定子・武村靖子・渡部成哉
立花車扇	1999年7月	●修善寺物語 (世界初演21)	田中均	鹿野章人・藤田真弓・市川和彦 多田羅迪夫
角田和弘	2007年3月	こうもり (以後一回)	J.シュトラウス	村松尚子・朝倉美幸・角田和弘
直井研二	1981年5月	海の子守歌	林谷栄治	名倉佳子・名倉省三
	1983年6月	蝶々夫人	G. プッチーニ	名倉佳子・名倉省三・中山真理子
	1985年6月	椿姫	G. ヴェルディ	名倉佳子・名倉省三・小林一博
	1986年6月	カルメン	G. ビゼー	名倉佳子・名倉省三石野健司
	1987年6月	ラ・ボエーム	G. プッチーニ	名倉佳子・名倉省三 中山真理子
	1992年7月	●那須与一 (世界初演22)	原嘉寿子	市川和彦・佐藤ひさら・村山哲也 川久保浩志・吉沢真由美
	1994年10月	●贄のうたげ (三重県文化会館柿) (世界初演23)	錦かよ子	市川和彦・馬場浩子・松橋昌子 澤脇達晴・鳴海卓・野崎浩子
	1995年8月	イル・カンピエッロ	W. フェルラーリ	藤原フサエ・林里美・松下小夜子 薦田義明・若井健司・
	1996年8月	四人の頑固者	W. フェルラーリ	熊谷公博・薦田義明・大石かおり
	1997年5月	脳死を越えて	原嘉寿子	藤原フサエ・林里美・松下小夜子・ 薦田義明・鹿又透
	7月	椿姫	G. ヴェルディ	大貫裕子・菊川祐一・石野健二
	10月	●龍神の玉 (世界初演24)	中村透	林里美・松下小夜子・若井健司 米田優・熊谷公博



演出家名	年月	タイトル	作曲家	主な出演者
直井研二	1998年8月	ドン・ジョヴァンニ	W.A.モーツァルト	薦田義明・藤原フサエ・熊谷公博
	10月	●太陽の黄金の林檎 (世界初演25)	錦かよ子	松橋昌子・北川正樹・渡瀬谷子
	1999年8月	●三郎信康 (世界初演26)	二橋潤一	永田直美・黒田晋也・渡部成哉
	10月	フィガロの結婚 (以後二回)	W.A.モーツァルト	藤原フサエ・林里美・松下小夜子・ 若井健司・熊谷公博
	2000年1月	●水の声 (世界初演27)	原嘉寿子	大貫裕子・経種廉彦
	2001年9月	●日光 (世界初演28) (以後三回)	中村透	林美智子・大貫裕子・市川和彦 川久保博史
	2002年3月	魔笛 (以後二回)	W.A.モーツァルト	原さとみ・中嶋忠幸
	10月	●新・琵琶白菊 (世界初演29)	川島博	松波千津子・小山陽二郎
	2004年9月	蝶々夫人 (以後三回)	G. プッチーニ	林里美・若井健司・野田晃子 熊谷公博・三木伸哉
	2008年8月	みづち	白樫栄子	折江忠道・角田和弘・江原実
	9月	ラ・ボエーム	G. プッチーニ	佐藤淳一・渡部ジュディス 鈴木誠・
	2009年9月	カルメン	G. ビゼー	小畑朱美・角田和弘山田由紀子
	2010年3月	ドン・ジョヴァンニ	W.A.モーツァルト	谷友博・馬場浩子・安田未央
2011年3月	ラ・ボエーム	G. プッチーニ	松本・原・加々良・松尾・ 大石・古沢・高木・角田	
中村敬一	1998年3月	那須与一	原嘉寿子	市川和彦・角田和弘・鹿野章人
	7月	フィガロの結婚	W.A.モーツァルト	佐々川広子・小島克正
	11月	●御柱 (世界初演30) (以後一回)	中村透	大貫裕子・持木弘・永井和子 鹿又透・村上敏明
	2000年3月	沈黙	松村禎三	田中誠・直野資・澤畑恵美
出口典雄	1975年7月	スペインの時	M.J.ラヴェル	出口正子・大島幾雄
	1989年6月	■オテッロ (本邦初演12)	G. ロッシーニ	田口興輔・林ひろみ・五十嵐修 田代誠・高橋啓三
西澤敬一	1992年3月	リゴレット	G. ヴェルディ	栗林義信・塩田美奈子
	1997年10月	●タケル (世界初演31) (新国立劇場柿)	團伊玖磨	林康子・佐藤しのぶ・福島明也 稲垣俊也・平野忠彦・永井和子 田口興輔・小林一男
長谷川裕久	1996年3月	●さんせう太夫 (世界初演32)	原嘉寿子	平野忠彦・大島洋子 小林加代子
早川昭二	1980年3月	●天守物語 (世界初演33)	水野修孝	大森園子・西義一・岸本力



演出家名	年月	タイトル	作曲家	主な出演者
平尾力也	1981年9月	●泣いた赤鬼 (以後二回) (世界初演34)	松井和彦	近藤伸政・加賀清孝・ 名古屋木実・高橋啓三・
	12月	■幸福な王子 (本邦初演13)	M.ウィリアムソン	三林輝夫・吉武由子 越賀恵美子
増田邦彦	1995年3月	こうもり	J.シュトラウス	池本和憲・菊島真理・持木弘
松尾洋	1996年6月	カルメン	G. ビゼー	安念千恵子・星洋二・工藤博
松谷和紀	1996年3月	■女の悪知恵 (本邦初演14)	D. チマローザ	金田一未加・喜田健司・
松本重孝	1991年8月	カルメン (以後一回)	G. ビゼー	永田直美・黒田晋也・牧野正人
	1993年8月	子供と魔法 奥様になった女中	M.J.ラヴェル G.ペルゴレージ	松下小夜子・林里美 大石かおり・薦田義明
	1993年8月	椿姫	G.ヴェルディ	澤畑恵美・黒田晋也・牧野正人
	1986年10月	吉四六昇天	清水脩	竹中治利・大橋保子
	2000年4月	●滝廉太郎 (改定世界初演35)	原嘉寿子	持木弘・市川和彦・関根恵理子
	2001年1月	カルメル修道女の対話	F.プーランク	田中則子・千田三千代
	1995年4月	蝶々夫人	G.プッチーニ	井岡潤子・小餅谷哲男・田中勉
	1996年7月	領事	G. メノッティ	小島克正・小畑佳子・井上敏典
宮本亜門	1988年5月	愛の妙薬	G. ドニゼッティ	松浦健・吉村温子・末吉利行
馬場紀雄	2003年10月	愛の妙薬	G. ドニゼッティ	光岡曉恵・望月光貴・大石洋史
	2005年10月	夢遊病の娘 (以後二回)	V. ベッリーニ	伊藤真友美・小山陽二郎・中村靖
	2012年5月	こうもり	J.シュトラウス	田代誠・折江忠道
	2013年8月	●いのち (世界初演36)	錦かよ子	松本佳代子・加々良良弦・野田晃子 高木浩行・松尾敬・松尾豊明
	2014年4月	魔笛	W.A.モーツァルト	清水理恵・小山陽二郎・秋本健
三浦安浩	2011年1月	三部作	G. プッチーニ	南出薫・亀谷泰子・今野博之
	2012年8月	椿姫	G. ヴェルディ	野田ヒロ子・福井敬・折江忠道
	2017年7月	ラ・ボエーム	G. プッチーニ	野田ヒロ子・福井敬・三浦克次
三谷礼二	1975年7月	■ミラクル博士 (本邦初演15)	G. ビゼー	常森壽子・原田茂生
横山由和	2011年11月	魔笛	W.A.モーツァルト	藤原海考・大音絵莉
D. カードウエル	2002年10月	ラ・ボエーム	G. プッチーニ	V. ベッロ・腰越満美
A. コルノ	2001年2月	リータ ザネット	G. ドニゼッティ P. マスカーニ	井ノ上ゆかり・樋口達哉 岩渕真理・井坂恵
M.コッラーディ	1999年7月	ドン・ジョヴァンニ (以後二回)	W.A.モーツァルト	L.マッロク・G.ルッジェーリ・ 佐々川広子



演出家名	年月	タイトル	作曲家	主な出演者
A.M.ディアーツ	1997年11月	リータ イル カンパネッコ	G. ドニゼッティ	葛貫美穂・大森智子 松浦健・中村靖
F.エスポージト	2005年11月	愛の妙薬	G.ドニゼッティ	モデナの歌手
M.フェルローニ	1982年11月	ヤーザーガー	K.ヴァイル	的場辰朗・渡辺佳津・鹿野章人
M.ゴボーニ	1982年11月	修道女アンジェリカ	G.プッチーニ	小笠原茂子・大藤裕子 森公美子
	1990年11月	愛の妙薬 (以後二回)	G.ドニゼッティ	中村佳子・松山郁雄・山田祥雄
M.ガンディーニ	2007年11月	■ピーア デ トロメーイ (本邦初演16)	G.ドニゼッティ	折江忠道・納富景子 小山陽二郎・吉田郁恵
	2009年10月	愛の妙薬	G.ドニゼッティ	納富景子・藤原海考・三浦克次
	2017年10月	ドン・ジョヴァンニ	W.A.モーツァルト	中村芽吹・市川宥一郎・ 駿河大人・石岡幸恵・岩崎展央
M.レアーレ	1993年10月	■ミトリダーテ・エウパトーレ (本邦初演17)	A.スカララッティ	種田尚子・中鉢聡
P.レーマン	1967年11月	魔弾の射手	C・M.ウエーバー	ニュルンベルグ歌劇場歌手
G.メノッティ	1974年2月	電話 霊媒	G.メノッティ	常森壽子・立川澄人 桐生郁子
M.ハンペ	1998年10月	魔笛 (オーバードホール柿)	W.A.モーツァルト	大島洋子・前多孝一・木村俊光
G. ロマニョーリ	2006年9月	■花言葉 (本邦初演18)	R. ロッセリーニ	三ノ宮まさみ・佐藤淳一
ヴァルネッケル	1988年7月	魔笛	W.A.モーツァルト	姉齒けい子・岡山廣幸・斎藤淳 佐藤栄・佐藤順子

※柿 = 柿落としの略



写真と共に振り返る



1) パイジェット作曲「セヴィリアの理髪師」 演出：橘市郎
宮本昭太さん・中村邦子さん・粟國安彦さんも歌ってくれました。



2) メノッティ作曲「電話」「霊媒」 演出：G.メノッティ
立ち稽古の休憩時間。お遊びの一瞬、
とてもユーモアのある先生でした。



3) 恩師ハンス・レーブライン先生のレッスン(バーゼルのお宅)



4) 夕食後の団欒
秘書のアンナさんとレーブラインご夫妻
先生の師に当たるクナッパーツ・ブッシュそして、
友達であったクレンペラー氏の話が尽きない。
何時も涙されるのがドイツ分断されたときの話。



5) 粟國安彦氏とようやくオペラを日本で創ることが出来た。
彼の死はあまりにも早かった。



6) ヴィタリーニ作曲「ダヴィデ王」 演出: 栗国安彦
東京で世界初演され、その録音がヴァチカン放送で流れた。
残念なことに放送のためのプログラムで、
栗国安彦氏の写真と一緒に載っていない(写真左上)。

6A) 「ダヴィデ王」作曲者ヴィタリーニ氏と
イタリアローマ・ヴァチカン放送の屋上(写真上)。

6B) 「ダヴィデ王」台本作家ラヴァーニャ氏と
ヴァチカン国を案内された時に(写真左)。



7) 石井敏作曲「袈裟と盛遠」 演出: 栗国安彦
ポーランドワルシャワ ヴィエルキ歌劇場でのゲネプロ



8) 原嘉寿子作曲「ペトロ岐部」 演出: 桂久
イタリア・パルマ レージョ歌劇場



9) レージョ歌劇場楽屋で公演スタッフと共に

Aldo Finzi
Pavane per violino

Frans Joseph Haydn
Concerto per pianoforte e orchestra in re maggiore
Hob. XVIII: 11

Yutaka Hoshide

Frans Joseph Haydn
Sinfonia n. 43 in mi bemolle maggiore "Mercury"

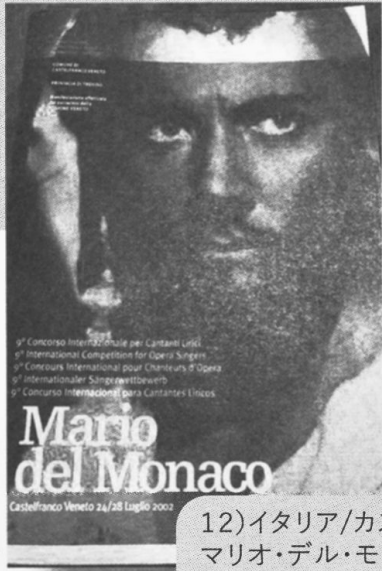
ILSA NINI | pianoforte
Nata a Tokio, ha iniziato il piano in et  della pianista, segnalandosi presto come
prezioso talento in campo nazionale. Ha esordito a undici anni. Dopo aver vinto molti
concorsi in Corea ed aver suonato anche con l'Orchestra Sinfonica di Seul, si   trasferita a
Stoccolma, dove ha studiato con il Maestro Gunnar Andersson e con Lars-Gunnar Ericson.
Diplomata nel 1984 con il massimo dei voti, ha seguito i corsi post-laurea del Master
tour di Salsburgo e della Hochschule f r Musik und Theater di Hannover. Dopo l'esordio
in patria, seguito da molti concerti, ha suonato in Germania, Austria, Olanda, Finlandia,
Svezia, Romania, Francia, Italia e Stati Uniti (Carnegie Hall di New York). Ha partecipato
al Musik Festival della Scheraga di Hagen e al Festival Music Sweden. Ha suonato con
l'Orchestra Filarmonica e con l'Orchestra Nazionale della Radio di Seul, con l'Orchestra
Filarmonica Svedese e con l'Orchestra Sinfonica della Radio Nazionale di Stoccolma, tra
altri, presso orchestre internazionali: "Marta Casella" di Barcellona, "Georges Enescu" di
Bucarest, "Citt  di Siviglia" di Siviglia. Reside attualmente in Italia. Dal 1997   iscritta al corso di
perfezionamento dell'Accademia Pianistica "Incontri con Malibon" di Intra, dove studia
con il Maestro Piero Rattalino.

Yutaka Hoshide | pianista
Ha studiato pianoforte e armonia all'Universit  Tokyo. Si era con il Maestro Manfred Eichel.
Dal 1970 al 1972 ha lavorato come pianista concertista e direttore d'orchestra al teatro di
Tokyo e ha suonato con il Teatro di Tokyo. Nel 1973 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 1974 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 1975 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 1976 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 1977 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 1978 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 1979 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 1980 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 1981 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 1982 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 1983 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 1984 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 1985 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 1986 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 1987 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 1988 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 1989 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 1990 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 1991 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 1992 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 1993 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 1994 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 1995 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 1996 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 1997 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 1998 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 1999 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 2000 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 2001 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 2002 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 2003 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 2004 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 2005 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 2006 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 2007 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 2008 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 2009 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 2010 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 2011 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 2012 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 2013 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 2014 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 2015 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 2016 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 2017 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 2018 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 2019 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 2020 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 2021 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 2022 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 2023 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi. Nel 2024 ha studiato pianoforte al Conservatorio di
Tokyo con il Maestro Takashi Mizoguchi.

10) Italia・ヴィチエンツァ テアトロ・オリンピコ劇場オーケストラ
初めての定期に出演した時のプロの一部



11) 演出家マリオ・コッラーディ氏と
スペイン・サウスエラ劇場会議室で
「ドン・ジョヴァンニ」の打ち合わせ。美術家川口直次氏も同席している。



GIURIA	
Sig.ra CELESTINA CASAPIETRA	cantante lirica - Presidente della giuria (Berlino)
M ^o OSVALDO ALEMANNIO	Direttore Artistico Concorso
M ^o JORGE RUBIO	direttore d'orchestra (Spagna)
M ^o HOSHIDE YUTAKA	Direttore d'Orchestra (Giappone)
Dr. JOSÉ ANTONIO AMANNI	Presidente Concorso Ribao
Sig.ra HANNA MUNTZ	sovrintendente teatro di Tel Aviv
Sig.ra MICHELLE MOMMIGÉ	(Montecarlo)
M ^o FILIPPO IGGANTE	sovrintendente del teatro S. Carlo di Napoli
M ^o STEFANO MAZZOLENI	Direttore d'orchestra

12) イタリア/カステルフランコで行われた
マリオ・デル・モナコ コンクール
審査委員として参加(写真左:審査員メンバー)



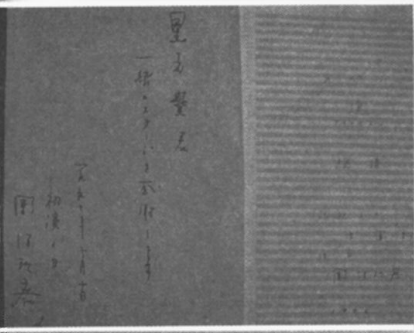
13) 珍しい写真/栗山昌良先生とアイスクリームで乾杯(?)



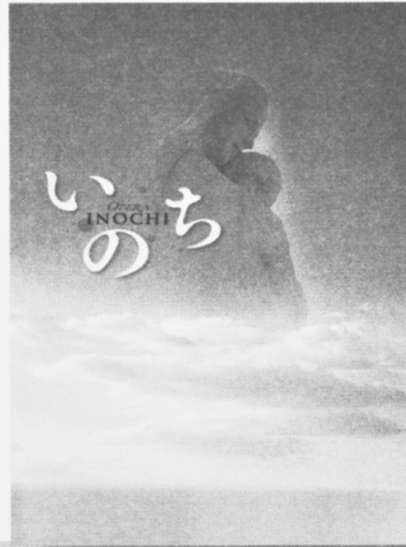
14) 演出家マルチェッラ・ゴボーニ先生
ローマ/
サンタチェチリア音楽院で
アルテシエニカの授業を見学



15) 團伊玖磨作曲「タケル」 演出: 西澤敬一
新国立劇場オープニング公演での稽古場。稽古場も初使用
演出家西澤敬一氏、副指揮山上純司氏



16) 錦かよ子作曲「いのち」
柴田陸陸先生に呼ばれて
栗國安彦氏と長崎県
オペラ協会に参加したのが1982年、
約35年間お世話になっている。
1990年頃から被爆された方たちと
会うようになり、お話を聞くうちに、
この悲劇をオペラにしたいと思い、
皆さんの声を台本化した。
被爆された方たちの協力を得ながら、
オペラ協会の皆さんが初演をし、
2015年度新国立劇場地域招聘公演に
招聘され公演した。
三菱東京UFJ信託文化財団音楽奨励賞、
JASRACから音楽文化賞を頂いた。
(写真左下から、パンフレット/新聞紹介/
片山杜秀先生の朝日新聞への寄稿文)



受難の歴史上手に折り重ね

長崎県オペラ協会、1982年に結成された。結成当初は、長崎県内各地のオペラ愛好者を中心に、オペラを楽しむための活動が行われていた。しかし、1990年頃から被爆された方たちと会うようになり、お話を聞くうちに、この悲劇をオペラにしたいと思い、皆さんの声を台本化した。被爆された方たちの協力を得ながら、オペラ協会の皆さんが初演をし、2015年度新国立劇場地域招聘公演に招聘され公演した。

音楽評論家 片山 杜秀

「いのち」は、長崎県オペラ協会が1982年に結成された。結成当初は、長崎県内各地のオペラ愛好者を中心に、オペラを楽しむための活動が行われていた。しかし、1990年頃から被爆された方たちと会うようになり、お話を聞くうちに、この悲劇をオペラにしたいと思い、皆さんの声を台本化した。被爆された方たちの協力を得ながら、オペラ協会の皆さんが初演をし、2015年度新国立劇場地域招聘公演に招聘され公演した。

2015年7月18日 水曜日 4版 6

被爆者の悲恋 旋律に


長崎原爆題材 オペラ「いのち」

指揮者が「声」集め物語紡ぐ

長崎県オペラ協会が、2015年度新国立劇場地域招聘公演に招聘され、7月18日(水)に新国立劇場本館で上演された。指揮者として、栗國安彦氏が指揮した。このオペラは、錦かよ子作曲の「いのち」で、長崎県オペラ協会が1982年に結成された。結成当初は、長崎県内各地のオペラ愛好者を中心に、オペラを楽しむための活動が行われていた。しかし、1990年頃から被爆された方たちと会うようになり、お話を聞くうちに、この悲劇をオペラにしたいと思い、皆さんの声を台本化した。被爆された方たちの協力を得ながら、オペラ協会の皆さんが初演をし、2015年度新国立劇場地域招聘公演に招聘され公演した。

星出 豊 先生

指揮者生活50周年
記念祝賀会



〈星出会〉

(50音順)

大勝秀也
小山陽二郎
河原哲也
河村逸平
小屋敷真
坂本和彦
柴田真郁
杉原直基
鈴木康夫
須藤桂司
田辺賀一
仲田淳也
樋本英一
牧村邦彦
松井雅司
松下京介
山上純司
山館冬樹

